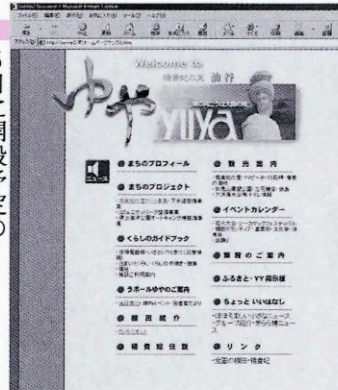


●オートキャンプ場を整備

近年、ライフスタイルの多様化によって余暇時間が増大したことにより、マリッジジャーが盛んとなり、土地の有効利用と恵まれた自然環境を生かし、交流人口の増大により活性化を図ることを目的に伊上漁港環境整備事業を進めています。平成十二年度中にオートキャンプ場を完成させ、平成十三年度には開設する予定です。このキャンプ場にはシーカヤック艇を整備しますので、「油谷湾シーカヤックフェスティバル」等の魅

力あるイベントをアウトドアスポーツとして定着させ、地域の活性化に結びつけたい考えです。

●インターネットホームページの作成



5月に開設予定の油谷町ホームページ

二十一世紀のまちづくりには情報施策の充実がキーポイントであると考えています。近年の情報通信メディアの発達と、低価格により、パーソナルコンピュータは目覚ましい勢いで家庭に普及しています。それに伴い家庭にいなから世界中の情報を入手できるインターネットの利用人口が急増しており、本町といたしましても新年度中にはインターネットホームページを早期に開設させ、情報の発信を行うとともに、このインターネットをフルに利用し、情報過疎からの脱却や、交流人口の増加を視野に入れた活用を図っていきたくと考えています。

豊かで活力ある

産業のまちづくり

農業

●水稲

長期にわたる米の生産調整、米価の低落、従事者の高齢化及び担い手不足に伴い、農業を維持・継続することが大変厳しい時期に直面しています。このため、将来にわたって農業生産活動を維持・可能にするため、「中山間地域直接支払い制度」を導入し、集落協定により地域内農地の耕作放棄の防止と、多面的機能を高め、集落の活性化を促進していきます。

また、足腰の強い農業を育成する観点から、稲作の省力化・低コスト化を図ることは重要であり、このためには、生産基盤の整備と営農組織の育成は不可欠なことから、町としてもこの推進・支援を行います。

畜産

畜産の振興につきましては、産地間競争が一層激しくなり肉用牛の資質に重点がおかれ、生産者としても枝肉品質の向上が必須の条件となつていきます。町としては、導入した但馬牛の資質改良をデーター保存し、「油谷但馬牛」の産地化を推進します。また、優良肉用牛の生産地としての基盤づくりのため、畜舎の増築・耕作放棄地の活用を推進するなど畜産振興を更に図っていきたく考えます。



棚田の有効活用を考えていきます